

第1回岡谷市基本構想審議会

会 議 録

【出席者】

○委員（15名）

味澤宏重 委員、太田博久 委員、小口泰史 委員、奥原一由 委員、黒河内孝行 委員、
小林妙子 委員、齋藤博子 委員、薩摩建 委員、高見澤恒子 委員、武田彰 委員、
中畑聖二郎 委員、中山昇 委員、新田隆史 委員、山崎舜次 委員、横内文雄 委員
(※欠席者・・・太田深穂 委員、笠原新太郎 委員、上沼隆弘 委員、中村進 委員、
山田和男 委員 以上5名)

○第5次岡谷市総合計画策定本部（3名）

(本部長) 岡谷市長 今井竜五、
(副本部長) 副市長 小口明則、
(本部長) 企画政策部長 岩垂俊男

(事務局)

企画課長 木下稔
企画課主幹 清水亮
同 味澤勝一
同主査 新村尚志
同主事 水澤優馬

第1回岡谷市基本構想審議会 会議録

令和元年6月25日（火）
午後1時15分～午後3時00分
市役所9階大会議室

1 開会

市民憲章唱和

2 委嘱書交付

3 市長あいさつ

4 会長あいさつ

5 議事

(1) 第5次岡谷市総合計画について

会長	議事を進行させていただく。 はじめに、会議事項（1）第5次岡谷市総合計画、基本構想について事務局より説明をお願いします。
企画政策部長	《第5次岡谷市総合計画について説明（資料1 1～7ページ）》
会長	質問については、最後にまとめてお伺いする。

(2) 令和元年度取組内容について

会長	次に（2）令和元年度取組内容について事務局より説明をお願いします。
企画課長	《令和元年度の取組内容について説明（資料1 8～66ページ）》
会長	ただ今、説明がありましたが、質問や意見等ありますか。
E委員	P18のおかぼんの件について。商工会議所の今年の1月におかぼんの協同組合の理事長さんからおかぼんのキャッシュレスに向けての相談があった。おかぼんを廃止して、消費税が増税されるのを目安に端末機とカードを渡し、そこに今までどおりのおかぼんポイントをチャージするように進めているが、それに関しては新しいカードに付加されるということでしょうか。
企画課長	産業振興部の方から、そういったキャッシュレスの動きがあるということでお伺いしている。今後の動向には注視している状況。
会長	他にございましたらお願いしたい。 それでは、せっかくお集まりいただいているので、委員の方皆様から一言ずつ、感じたことでも何でもよいので、いただければと思う。

R委員	<p>P45の後継者の育成事業の関係で、これはもう既に始まっているんですね。今日の11時半ころテレビの中継で指導を行っているところが流れていた。非常に素晴らしく、他の人が見ても感動するのではないかと思います。今後も続けていっていただければ。</p>
市長	<p>少子化等いろんな問題があるなかで、後継者の育成は大きな課題であり、小学校で太鼓教室をやらせていただき、太鼓保存会の皆さんが一生懸命頑張っているのを、後押しをしていきたいと思っている。</p>
R委員	<p>それともう一つ、公立の保育園のエアコンの設置は、今年の6月で完成をしたということですが、市内の小中学校にもエアコンを引続き設置していくということではいか。</p>
市長	<p>本来であれば、この夏に間に合わせたかったが、やはり台数が多いことと、全国でこの需要があり、なかなか間に合わないということがある。来年の夏に間に合わせるべく工事を継続して進めているところである。</p>
R委員	<p>ゴミがあっても拾わないとか、いろんな意見がでたが、各衛生自治会の会長さん方も非常に苦勞をされており、この際、気がついた人が片付けるということができれば、一番ありがたいと思う。</p> <p>もう一つは、岡谷にはポイ捨て禁止条例ができていますが、それを知らない人がいるのか、罰則や監視について誰が行うのか等わからないこともある。市民のみなさんが、ポイ捨てをお互い注意をしよう、片付ける等のことが市民になってもらえれば、綺麗なまち岡谷を続けていけるのではと思う。</p>
Q委員	<p>日曜日にお伊勢参りに行き。おかげ横丁は賑わいがすごかった。岡谷、諏訪地域にも観光素材は多くあり、行政だけでなく、市民や活動している人が横になっていいまちになって欲しい。地域おこし協力隊の方、若い方等いろんな人を巻き込んでひとりひとりが何かできることをという形で参加してくなど、みんなの気持ちの一つになっていくともっといいまちになるのではないかと思います。微力ながら、できることは協力をしていきたい。</p>
P委員	<p>P51の防災のところでメールの配信について、なにか起きたときに配信するという意味でよいのか。コメントになるが、大学生を見ると、メールは殆ど見ない。大学から重要なお知らせをメールで配信するが、今の若い人達は、LINE、SNSの情報等を見る。なので、高校生によるSNSの配信という取組があるが、それを含めて、岡谷市がSNSでの情報発信を充実させて、配信していけるようになると、若い人達も危険だなと感じるときには見るのではないか。信州大学としては、人材育成というところで協力できるかなと思っているので、総合計画の中のP20以降の小中学生、高校生へのいろいろな教育をお手伝いできていると思っている。数年間をかけてどういことができるかを議論していきたい。最終的には、このまちに戻ってきて仕事ができるということが大切だと思いますので、そこを強調できればいいかなと思う。未来の担い手を育む活動の中で、素晴らしい企業があるので、戻ってきて仕事がしたいと思えるようなことを生涯学習の一環として取り組んで、戻ってくるとこういう仕事があるんだという計画を立てられるようにするというのがいいのかなと思う。</p>

P委員	<p>雑談になるが、小型ロケットプロジェクトが全国に知れ渡り始めて、茨城県も宇宙関係で対応していくということで話を聞いている。視察にきていただいた。鹿児島大学の先生もロケットの打ち上げをしたいということでこの諏訪地域に来られている。情報発信をしないと来ないのかなと思う。シルクに関しても、ブランドを発信していくというのはいいことだと感じた。</p>
企画課長	<p>メールについては、自然災害、詐欺、行方不明者、いろんな部分で市の情報発信に使わせて頂いている。</p>
N委員	<p>いいなと思ったのは、66 ページの高校生まちづくりの取組。高校生が、ご当地ラーメンでうなぎを活用するなど、高校生にやらせるのではなく、これからの将来を担う人材にまずは岡谷市のことを知ってもらい、発信するというのはいいことだと思う。総合計画を作成するにあたってのアンケートの中で、そんなに県外に行ってしまう人が多いわけではなく、地元に残る高校生もいた。そういった高校生と行政が一緒に行くことは良いことだと感じた。私の娘は中学生ですがスマホを持っていますので、岡谷市が立ち上げた SNS 等があればその発信を見て意欲向上につながっていけばいいと思う。</p>
M委員	<p>総合計画をいくつかご説明いただいた中で、岡谷市に住む人を増やすことも大事ですが、外から働きに来ているという立場から、岡谷市に来やすい整備が大切だと思う。IC の整備や、川岸の道の整備は外からのアクセスのしやすさに繋がるので、とても良いと思う。また、湖周のサイクリングロードの整備についても、車でなくてもアクセスしやすくなるということはとても期待ができることだと感じる。アクセスの環境が良くなることで、良い企業が来てくれる条件だと思います。長地に大きな敷地がしばらく空いていたが、企業が来るということを知っている。土地がたくさんあるわけではないが、優良な企業が招致され、働きに来る人が増えていけばいいなと思う。</p>
L委員	<p>子供たちにいろいろ教えなければいけないことが増えていくなかで、文化芸術という部分については、学校でしっかりいろんな所を回ったり、教育の中で、減らさないで継続していくということが大切かと思う。地域おこし協力隊の皆様には非常に期待をしているので、良い形が出来ていけばいいなと思っている。防災ガイドの作成の関係ですが、一番大切なのは、作った計画をどれだけ活用していくということだと思うので、配布説明会が予定されていますか、そこに力を入れていただいて、いざという時に使えるものという認識を市民の皆さんに伝えられるかというところが大きな要素かと思うので、ぜひ力を入れていただけたらと思う。</p>
K委員	<p>保健委員連合会というところで活動している。「健康寿命」延ばそおかや事業では、健康ポイント事業ということで、今年から特定健診、高齢者健診、人間ドック、がん検診などにもポイントが付いたり、各種講演会へ参加することでポイントがいただけるということで、第1回の講演会があったが、岡谷市は長野県の中でも特定健診の受診率が最下位ということで、とても頭が痛いですが、こういうことを通じて皆さんが少しでも関心を持っていただいて、健康寿命の延伸に繋がっていけばいいなと感じた。総合計画が出来ているが、この目標がすべて達成されれば、とても良い岡</p>

	<p>谷になるなど感じるので、若い人達が外に出て勉強をしても、岡谷に戻って来て働きたいというような魅力のある岡谷市になって欲しいと思っている。スマートインター等の設置によってより住み良くなっていくと思っているので、計画を実施し、皆さんに愛される岡谷市になっていただきたい。</p>
<p>J 委員</p>	<p>いろいろな方々が集まっているところで、色んな意見が聞けて大変有意義な会議になったと思う。住んでよし、働いてよしの岡谷となるよう、全国モデルになるような何か、少子化対策を。考えただけでも頭がいっぱいで、行政側じゃなくて本当に良かったと思う。</p>
<p>I 委員</p>	<p>まず、昨年度の、PTA 連合会の中で、昨年の猛暑の関係もあり小中学校へのエアコンの整備を市の方をお願いをさせていただいたが、早急にご対応をいただき、お礼を申し上げたいと思う。来年の夏までに学校の全校でエアコンを配置するとお伺いした。各学校の現状は、PTA の三役の皆さんが考えて、扇風機の寄附を募ったり、家庭で不要なものを夏の間借りて学校へ設置するなどの対策をしている。</p> <p>東部中学校の副会長という立場でもあり、大規模改修を行っているとのことであるので、どんな形になっていくのか楽しみにしている。</p> <p>留守番電話の関係について、今年度から留守番電話を導入しており、朝晩は留守番電話での対応となっている。PTA の会合等で夜まで学校にすることがあるが、先生方も結構な人数が残っている。子ども達に教えることに集中できる体制づくりが大切だと感じた。それに関連して、部活動の関係については、県から社会体育との境を明確にするというものが出ており、そのあたりについて情報があればまた教えていただければと思う。</p>
<p>F 委員</p>	<p>連合壮年会の実態について、現在 14 区が加盟しているが、これから 2 つの区が脱退する予定になっている。一つの理由として、60 歳から 70 歳まで働くようになっていくということによって役員を引き受ける方がいなくなっているという状況。なかなかそういう状況で活動そのものが厳しくなっていると感じている。連合壮年会というのは、それぞれの区の中でも、いろいろな行事に参加をして盛り立てている。</p> <p>これからどうしていくのかということ議論するが、直接的には関係がなくても、広く見れば、市のいろいろな取り組みにも影響してくると思うので、市の職員の方も積極的に、壮年会の方に加盟をしていただければと思う。</p> <p>総合計画を見させていただいたが、一つ一つ、実行して行くために大切になってくるのは人だと思うので、人口減少というのはこれからの課題になってくると思う。極力流出は避けなければいけないし、大学への進学のために市外へ出た方にも戻って来てもらうというのが非常に大切であると思った。</p> <p>やはり、なんといっても子供達であると思う。お母さん達が安心して子供を産んで子育てができる環境を作っていくということが一番大事なかなと思う。今、未満児等については、制度があって市の方で受け入れていただいているところがあるが、なかなかハードルが高いなど感じる。</p> <p>金銭的な問題と、法的に育児をするために、1 年から 1 年半、休みをいただけるみたいだが、なかなかそうもいかないということがある。市としてもなかなか企業に色々言うことはできないと思うが、市を上げて環境づくりをしていくのが大切だと思う。そういった環境づくりをして、安心を</p>

	<p>して子育てができ、これだったらもう一人子どもが欲しいなと思えるような環境にしていきたい。</p> <p>子供たちが通学している時に見守りをしてくださる方がたくさんいるが、まだまだ不足をしているようであるが、それは非常に大事だと思う。子育てについて、力を入れてやっていただければと思う。</p>
<p>E委員</p>	<p>会長からお話があった、人口は減り始めているのにまだ増えるという推計の計画が昭和 58 年に作られていたが、その当時は、工業用地がなく、岡谷を出なければいけない企業がたくさんあった。岡谷市には、頑張っていて、工業団地が作られ、大きく動いていただいたことに感謝する。</p> <p>私は工業活性化委員会というものに毎年参加をしているが、労働者人口が減るのは仕方がないことだと思うが、岡谷に魅力ある企業を作っていかなければいけないと思っているので、市長さんが頭になって、東京や、名古屋に出向き、岡谷をアピールしていることには、敬意を表したいと思う。</p> <p>今回、商業活性化委員会ができたということは、一番の素晴らしいことかなと思う。今まで工業だけに目を向けていたが。工業で市外から外貨を稼いできて、それを他の地区でお金を使うのではなく、岡谷市内で使える形にして、岡谷市の福利が増えていくという流れを作って頂けるということに私としても、商工会議所としても感謝する。岡谷市が得をするというわけではないが、これを続けて頂きたい。</p>
<p>C委員</p>	<p>先程、地域おこし協力隊の方々のインタビューの映像があったが、仕事の関係で博物館等とのつながりがあり、お二人とも話をする機会があった。シルクフェアというイベントがあり、橋口さんには、各イベント会場を回りながら SNS で情報を発信していただいた。佐々木さんにはシルクフェアの反省会の際に、これまでの経験を活かして、アンケートの分析をやっていただいた。いろんな角度から分析をされており、この分析であれば、これをもとに、次の計画がしっかりできるなと感じた。本当によくやっていただいていると感じている。</p> <p>私の家の前は、諏訪湖で県道が通っているが、年に 1 回、真光教団の方に整備をしていただいている。本当は地元がやらなければいけないことだと思うが、あてにしているところもある。県道の周りに植え込みがあり、できた当時は、植え込みの所に看板をつけて管理する人を決めていたが、10 年も経つと、だんだん、年をとってきて出来なくなっている。区の方でも環境整備の委員会とか、ボランティアで草刈りを行うが、手が回らない状況で地元の中では切実な問題になっているのではないかと感じる。</p>
<p>会長</p>	<p>いろんな率直な意見をいただきましてありがとうございました。市の方でも参考にさせていただければと思う。</p>

(3) その他

会長	事務局より何かございますか。
企画課主幹	<p>事務局より、基本構想審議会の今後の進め方についてご説明する。今後については、PDCA サイクルを確実に回していくために、施策ごとに設定している数値目標について達成度の検証をし、総合計画の進捗状況についてご意見をいただきたいと考えている。つきましては、年2回、皆さんに集まっていただいて、基本構想審議会を開催してまいりたいと考えている。1回目については、今回のような形で、年度初めの段階で今年度取組む事業について、ご説明させていただく。2回目は秋口ぐらいに予定し、前年度事業の進捗状況について、ご報告させていただき、それを受け、次年度事業へ繋げていくための意見交換を予定している。</p> <p>委員の皆様におかれましては、それぞれの立場から計画の推進に対して、ご支援とご協力をいただきますようお願い申し上げます。</p> <p>事務局からは以上となります。</p>
会長	ありがとうございました。次に委員のみなさんからなにかあるか。
L 委員	KPI の数字について、5年後の達成目標はあるが、出しにくいものもあるかもしれないが、各年度で目指す目標のようなものはあるのか。それがないとPDCAのチェック、どれくらいずれているのか出しづらいと思うが。
企画課長	今回は新しい事業の紹介ということだが、5年をかけて積み上げていくので、その経過の中でのKPIについては、検証をしていけるようなことを考えていきたいと思う。
A 副会長	<p>活発な意見をいただきありがとうございました。改めてこうした場でいろんな市民のみなさんの意見を反映するということは必要だと感じるとともに、皆さんの中からも今困っていること、それぞれの優先課題等が出てきた。そういった意見がこうした計画にその都度反映されて、より意味のある実行計画、実施計画と一緒に協力して繋げていければと感じた。これからもご協力をお願いしたい。</p> <p>以上を持って、第1回岡谷市基本構想審議会を閉会させていただく。大変お疲れ様でした。</p>

6 閉会